

登録コード	TOH02900	開講年度	2026					担当教員	窪田 雅之
授業科目	博物館概論(16T以降)							担任教員	窪田 雅之
英文授業名								副担任	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限			対象学生	工学部1～4年生
講義室	人文第4講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標				【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ				【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			博物館史と先人の営みを受容し、熟考したうえで新たな学芸員像、博物館像を思索できるようになる。 「対話と連携」を重視する博物館活動を意識し学芸員に必要なコミュニケーションリテラシーを身につけ、利用者との一体感を創出できるようになる。 学芸員に必要な資質と専門性を学び、社会情勢の変化に対応できる博物館の在り方と学芸員の職務・役割を発想できるようにする。		
2 6 Tカリ				【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。			博物館史と先人の営みを受容し、熟考したうえで新たな学芸員像、博物館像を思索できるようになる。 「対話と連携」を重視する博物館活動を意識し学芸員に必要なコミュニケーションリテラシーを身につけ、利用者との一体感を創出できるようになる。 学芸員に必要な資質と専門性を学び、社会情勢の変化に対応できる博物館の在り方と学芸員の職務・役割を発想できるようにする。		
(2)授業で学べる「テーマ」				その他					
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要				本授業は地方自治体で文化財保護業務に従事し、博物館で学芸員、館長職を経験し、現在も文書館業務に従事している実務経験を活かし、現場経験と人的ネットワークにより現職学芸員ほかゲスト講師の授業も行い、かつ現場見学を実施し、学芸員に必要な資質と専門性、博物館の役割と今後の展望などについて学び、求められる学芸員像と時代にシフトした博物館の社会的意義を創造（表現）できるよう展開する。課題レポート2回の提出を求める。期末試験を実施する。					
(5)授業計画				1 博物館学の概要に関する講義 ・講師の勤務先である文書館の事業を紹介し、博物館、文書館での実務経験を踏まえガイダンスを行う。博物館概論をはじめ博物館学の概要を学び、今後の授業に活かす。 キーワード/学芸員、文書館、アーキビスト、博物館学、生涯学習、地域振興 *課題レポート1「博物館概論を受講する理由」 提出：3講時 2 博物館の法制度、学芸員の位置づけ・職務などに関する講義 ・令和4年度の博物館法改正をはじめ社会教育法、文化芸術基本法などの制定背景を概観し、法令上の博物館の位置づけと使命、学芸員の職務と求められる資質について学ぶ。 キーワード/博物館法、社会教育法、文化芸術基本法、学芸員 3 「博物館、学芸員のイメージ」についてグループ討論 ・1、2講で学び考えたことを踏まえ、グループに分かれて博物館、学芸員のイメージについて討論してフリップに記入する。 4 「博物館、学芸員のイメージ」についてのグループ発表と質疑応答 ・3講でまとめたイメージについてグループ別に発表し、質疑応答を行い他のグループ（受講者）のイメージを共有し次回以降の授業に活かす。 5 博物館史 世界の博物館史、日本の博物館史1に関する講義 ・ヨーロッパをはじめとした海外の博物館史、日本の博物館前史を概観し、海外と日本の博物館の誕生の背景などについて学ぶ。 キーワード/珍品陳列室、驚異の部屋、植民地、大英博物館、万国博覧会、正倉院、絵馬殿、開帳 6 博物館史 日本の博物館史2に関する講義 ・明治政府の博物館設置から現代までの状況を概観し、明治初期開催の松本博覧会、時代にシフトした博物館の役割、位置づけとの変化について学ぶ。 キーワード/博覧会、帝室博物館、個人コレクション、博物館法、対話と連携、指定管理者制度 7 博物館史 地域博物館史に関する講義 ・見学先である松本市立博物館の前身、1906年開館の明治三十七八年戦役記念館の設立と現在までの活動を概観し、時代に対応する地域博物館の性格の変化と課題について学ぶ。 キーワード/日露戦争、教育陳列場、ナショナリズム、通俗教育、社会教育、生涯学習、文化観光施設 8 博物館活動 資料収集・保存・資料管理に関する講義 ・博物館が収集対象とする資料の種類、資料の収集活動、保存、資料管理などを概観し、ゲスト講師（現職学芸員を予定、以下同じ。）から博物館のベースとなる資料収集と整理保管、保存の実際について学ぶ。 キーワード/コレクション、文化財、博物館資料、公共財、分類、登録、文化財IPM 9 博物館活動 展示・利活用に関する講義 ・資料活用の中核をなす展示の種類やシナリオ作成などを概観し、ゲスト講師から常設展示、特別展示の準備状況や資料の利活用について学ぶ。 キーワード/陳列、展示、常設展示、特別展示、学習支援					

(5)授業計画	1 0 博物館と生涯学習、まちづくりに関する講義 ・博物館と生涯学習、まちづくりのかかわりを概観し、松本まると博物館構想の策定と実践活動を事例に市民の生涯学習支援と地域振興に寄与する博物館の在り方について学ぶ。 キーワード/エコミュージアム、地域資源、市民協働、人づくりとまちづくり、首長部局 1 1 博物館の見学(松本市立博物館) ・1 0講までの授業を踏まえ、2 0 2 3 年1 0月に開館した松本市立博物館を見学し、博物館の経営方針、機能、市民に開かれた博物館の現況について学ぶ。2 回分の授業を使って行う。(通常の授業日ではなく、土、日曜日または祝日に行う。)。日程は後日調整する。 キーワード/交流・情報交換機能、集客・観光機能、文化観光資源、松本まると博物館 1 2 博物館の見学(松本市立博物館) ・1 1講と同じ。 *課題レポート2「松本市立博物館見学の感想・意見」提出:1 4 講時 1 3 博物館の現場から 国宝旧開智学校校舎の事業と学芸員の実務に関する講義 ・文化財建造物の保全(耐震化工事の実際)、教育資料の収集から利活用まで教育博物館の活動事例、学芸員の実務について、ゲスト講師から学ぶ。 キーワード/永山盛輝と教育立県、開智学校、学都松本、文化財建造物、教育資料 1 4 博物館の現場から 松本市美術館の事業とその背景に関する講義 ・美術館の活動事例、学芸員の実務、美術館の課題、学芸員としてのキャリアなどについて、ゲスト講師から学ぶ。 キーワード/美術館と博物館、指定管理者制度、美術館の4本柱 1 5 博物館の連携に関する講義 ・授業のまとめとして博物館と地域社会、市民、学校、博物館などとの連携事例を概観し、観光行政とのかかわりも含め博物館の連携活動について学ぶ。 キーワード/地域社会、市民、社会資源、文化観光資源、連携(学校、博物館、MLA) 1 6 期末テスト、授業アンケート *見学先、ゲスト講師の日程調整により、授業内容が前後することがある。
(6)成績評価の方法	課題レポート(2回)4割、期末レポート6割の比率で総合的に評価する。
(7)成績評価の基準	・筆記試験 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」。 ・課題レポート 生成AI使用不可
(8)事前事後学習の内容	1 シラバスを読み、学芸員・博物館について理解を深める。可能ならば、身近な(見学したい)博物館に来館する。課題レポート1「博物館概論を受講する理由」作成準備。(4時間、事後学習も含む、以下同じ)2 博物館法、社会教育法、文化芸術基本法などの関連法令を熟読する。グループ討論の準備を行う。課題レポート1作成。(4時間)3 自分の意見とグループ討論の結果を比較検討し、整理する。(4時間)4 自分のグループと他グループの意見を比較検討し、整理する。(2時間)5 世界の博物館史と日本の博物館前史を学習する。(2時間)6 時代にシフトした日本の博物館の使命の変化を学習する。(2時間)7 配付資料等を参考に、博物館資料、文化財について学習する。(2時間)8 配付資料等を参考に、資料の保存、管理について学習する。(2時間)9 配付資料等を参考に、展示ほか資料の利活用について学習する。(2時間)10 配布資料等を参考に、松本市立博物館の歩みを学習する。(2時間)11 配付資料等を参考に、中心市街地に開館した松本市立博物館の活動について理解を深める。見学時の質問を考える。(2時間)12 課題レポート2「松本市立博物館を見学して」作成。(4時間)13 配付資料等を参考に、博物館の連携について学習する。(2時間)14 配付資料等を参考に、松本市美術館について理解を深める。(2時間)15 14回の授業を振り返り、不明点、疑問点等を整理する。また博物館の社会的意義について考える(2時間)
(9)履修上の注意	・身近な(好きな)博物館を見学し、具体的な学芸員像、博物館像をイメージできるようにすること。 ・日頃から博物館にかかわる報道、情報に接し、授業に活用すること。
(10)質問、相談への対応	窪田メールアドレス kuboma012@gmail.com
(11)その他	
【教科書】	ありません。
【参考書】	大堀哲ほか編著 2014 博物館学 学文社 稲村哲也編著 2019 博物館概論 放送大学教育振興会 窪田雅之 2022 改訂増補信州松本発。博物館ノート 書肆秋櫻舎